

第 413 回 松本歯科大学大学院セミナー

日時：2023 年 1 月 13 日(金) 17 時 30 分～19 時 00 分

場所：実習館 2 階セミナー室

演者：鈴木 善貴 氏

(徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野)

タイトル：睡眠時ブラキシズムの生理学的特性とマネジメント

歯の咬耗やアブフラクション、補綴装置の破損・脱離、歯周病の増悪、顎関節症や緊張性頭痛など様々な為害性があると考えられている、睡眠時ブラキシズム (Sleep Bruxism; SB) は睡眠障害国際分類第 3 版で睡眠関連運動異常症に分類されている。SB は睡眠中の咀嚼筋活動である Rhythmic Masticatory Muscle Activity (RMMA) が 1 時間あたりの回数を基準として診断され、その筋活動パターンにはリズム性に活動する Phasic type、持続性に活動する Tonic type、両者を伴った Mixed type が存在する。この RMMA は睡眠中に大脳や交感神経系の賦活に伴って生じる覚醒反応であるが、この中枢性の咀嚼筋活動はその的となる咬合には左右されず不規則な顎運動としてアウトプットされている可能性がある。このような無意識下の過大な咬合力を伴った顎運動をコントロールすることは非常に困難であるが、その発症・増悪因子を探ることで、オクルーザルスプリント (ナイトガード) 以外の SB のマネジメントの方法が見えてくる。本講演では、SB における生理学的特性 (発現メカニズムや運動特性)、そのマネジメント (診査・診断) などをお話しさせて頂き、睡眠中の顎運動について造詣を深め、明日からの歯科臨床に活かせるものとなれば幸いである。

Matsumoto Dental University Graduate School of Oral Medicine

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

講師略歴

- 2007年 徳島大学歯学部歯学科卒業
2008年 徳島大学病院歯科医師臨床研修修了
2012年 徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学科 博士課程修了
徳島大学病院医員（歯科）
2014年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部顎機能咬合再建学分野 助教
2015年 モントリオール大学歯学部 ポストドクトラルフェロー
モントリオールサクリカ病院睡眠医療先進研究センター 客員教授
2017年 徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野 助教
2018年 徳島大学病院歯科（かみあわせ補綴科） 講師（現職）

著書

『徹底解説 ナイトガード -エビデンスに基づいた睡眠時ブラキシズムの診断・治療-』鈴木 善貴, 松香 芳三, 大倉 一夫, 安陪 晋, 鴨居 浩平. 医歯薬出版株式会社, 2020年.

受賞歴

公益社団法人日本補綴歯科学会 学会論文賞（2020年）, 公益社団法人日本補綴歯科学会 デンツプライ・シロナ賞（優秀ポスター賞）（2017年）, American Academy of Dental Sleep Medicine Research Excellence Award（2016年）, American Academy of Dental Sleep Medicine Graduate Student Research Award（2016年）, 日本顎口腔機能学会学術大会優秀賞（2014年）, 社団法人日本補綴歯科学会デンツプライ賞（2013年）

担当：増田 裕次（顎口腔機能制御学講座）